

一般社団法人日本女性医学学会
平成24年度第2期(平成24年9月1日～平成25年8月31日)
事業報告

1. 会員動向

全会員数:1,940名(平成25年8月31日現在)／前年比+74名

2. 学術集会・ワークショップの開催

- ・第27回日本女性医学学会学術集会
会期:平成24年10月13日(土)～14日(日)
会場:山形国際ホテル(山形県山形市)
会長:倉智 博久(山形大学医学部産婦人科学教室 教授)

- ・第18回日本女性医学学会ワークショップ
会期:平成25年2月24日(日)
会場:ウインクあいち
実行委員長:若槻 明彦(愛知医科大学産婦人科教授)

3. 学会誌刊行(編集委員会)

- ・20巻2号(Vol.20、No.2)発刊 :平成24年11月
- ・20巻3号(Vol.20、No.3)発刊 :平成25年5月
- ・20巻増刊号(Vol.20、suppl.)発刊 :平成24年9月／第27回学術集会抄録号

4. ニュースレター発行(編集委員会)

- ・Vol.18 No.2(平成24年9月)、Vol.18 No.3(平成25年1月)、Vol.18 No.4(平成25年4月)発行
- ・ニュースレターに関する会員向けアンケート実施。

5. 学会ホームページ(渉外広報委員会)

- ・各種学会事業についての情報更新、更年期医療に関する情報掲載(文献アーカイブ等)

6. 学会賞、学会奨励賞の選考、学会指定プログラム(学術研修委員会)

- ・平成25年度学会賞:倉智 博久(山形大学医学部産婦人科教室教授)
- ・平成25年度学会奨励賞:
 - ＜基礎研究部門＞受賞者なし
 - ＜臨床研究部門＞岡野 浩哉(飯田橋レディースクリニック 院長)
 - ＜看護部門＞受賞者なし
- ・平成24年度優秀演題賞:第27回日本女性医学学会におけるにおける一般演題7題より選考。
太田 邦明(慶應義塾大学医学部産婦人科)
渡辺 綾子(大阪医科大学産婦人科)
- ・学会指定プログラム:第27回学術集会時に開催

7. JMW H Bayer Grant(学術研修委員会)

- [研究助成] 尾林 聡(東京医科歯科大学大学院医歯薬学研究科生殖機能協関学 准教授)
- 川島 英理子(岐阜大学医学部産婦人科)
- 高橋 一広(山形大学医学部産科婦人科教室 准教授)

8. 学術調査研究事業(調査研究委員会)

- ・「女性の生活習慣と健康に関する疫学研究:全国ナースを対象にした大規模コホート研究;
Japan Nurses' Health Study」(群馬大学医学部保健学科医療基礎学との共同研究)の継続

- 1) JNHS 追跡調査(2, 4, 6 年後調査票の送付)
- 2) 調査対象者全員への JNHS ニュースレター送付
- 3) JNHS 関連委員会(運営委員会、疾病評価合同委員会など)の開催

9. 認定制度事業(認定制度委員会)

- ・平成 25 年度認定審査試験実施(平成 24 年 8 月 18 日) 受験者 32 名中 29 名合格。
- ・認定審査試験結果分析
- ・来年度認定審査試験ならびに更新に向けての準備
- ・平成 25 年度更新対象者へ更新告知
- ・平成 24 年度総会決議に基づき、認定名称を「日本女性医学学会認定女性ヘルスケア専門医」に変更。コメディカル向けの名称は「日本女性医学学会認定女性ヘルスケア専門●●」と決定。それに伴い、認定制度規則を改定

10. 2013 年 5th APMF 準備 (APMF 組織委員会)

- ・5th APMF 開催に向けての諸準備
- ・会員や海外の学会に対して集客活動

11. 更年期医療ガイドブック関連事業(女性医療推進委員会)

- ・更年期医療ガイドブック改訂における内容の再検討と改訂に向けての準備
- ・平成 26 年 4 月発行に向けて原稿執筆、査読準備。

12. HRT ガイドライン関連事業(女性医療推進委員会)

- ・2012 年改訂版発行。第 27 回学術集会中に販売。
- ・2015 年 HRT ガイドライン改訂に向けての準備

13. 医療保険改定(女性医療推進委員会)

- ・医療保険改定にむけて準備

14. その他

- ・世界メノポーズデーに伴うイベントの実施(平成 24 年 10 月 18 日～10 月 24 日)
- ・早発卵巣不全に関するガイドライン作成のため新委員会立上(早発卵巣不全委員会)。日産婦研修施設に対し POF に関するアンケート調査を実施し、結果を分析。